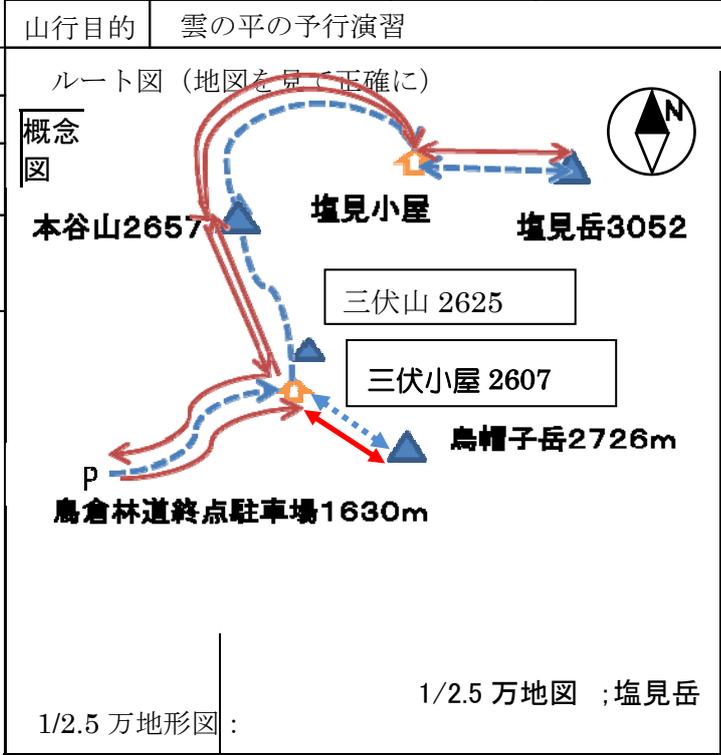


7月度 <b>例会</b> 山行報告書		報告者	油井 武	参加 メンバー	CL: 青山 武 SL: 塚本英吾、 佐溝 直彦、油井 武
7月度 <b>個人</b> 山行報告書		報告日	7月7日		
山城	南アルプス	山行日	11年6月30日(木) ~		
山名	塩見岳		7月2日(土)		
山行目的	雲の平の予行演習		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先  
総会参加数  
山行: 1  
リーダー  
原紙:  
会事務局



6/25 曇り、時々晴	11:00 塩見小屋着、
5:00 刈谷発	12:34 本谷山
7:25 大鹿村	12:50 本谷山発
8:00 鳥倉林道駐車着	13:35 三伏山着
8:20 同上発(登山開始)	13:40 三伏山発
9:00 登山口着(登山届)	13:50 三伏小屋着
9:10 同上発	(三伏小屋泊)
12:00 三伏小屋着	7/2 快晴
14:15 鳥帽子岳往復	4:50 三伏山往復 5:50
(三伏小屋泊)	6:50 三伏小屋発
7/1 曇り	8:05 豊口山コル
4:50 三伏小屋発	8:45 登山口着鳥倉林道
5:00 三伏山	8:55 同上発
6:05 本谷山発	9:30 駐車場着
7:30 塩見新道分岐着	10:35 大鹿村役場
7:45 塩見小屋着	11:00 中村農園青けし
8:10 塩見小屋発	12:40 松川温泉着休憩
9:16 塩見西 9:23 東岳頂	16:00 松川 IC
9:50 塩見東岳頂上発	18:00 刈谷着

この特報告我々は天候を心配していたが、現地の道路情報などを掴み、梅雨の合間を縫って、催行を決定した。刈谷を5時に出発し松川インターを6時54分通過したので、懸念された小渋ダム付近の工事通行止めにも会わず、大鹿村、鳥倉林道ゲート駐車場へ到着した。早速準備、体操の後登山開始。舗装した林道を約40分歩くと登山口だ(1745m;14℃)。そこにはマウンテンバイクが2台ロックしてあり誰か先行者あり。1本後靴ひもを締めなおして、唐松の落ち葉をふみしめシダ生い茂るジグザグの道をゆく。途中滑りやすい木道を数か所過ぎると水場に到着(2240m12℃)。一休みの後も細い材木の栈道を何回か通過、ザレたルンゼもあり慎重に登る。やがて塩川ルートとの分岐点(2390m12℃)に出た。そこから約30分で三伏小屋(2610m11℃)に到着した。小屋の主人に勧められ時間的にも余裕があり、一服のあと鳥帽子岳へのピストンを開始13時05分鳥帽子頂上(2726m12℃)。途中のお花畑にはシチノキンバイ、ハクサンチドリ、など高山植物が花ざかりであった。遠雷に追われて、三伏小屋へ戻る途中ジャクナゲの白い花の可憐な姿に見惚れ、角度を変えてカメラ。二日目は三伏小屋を早立ちして塩見岳に向かう。途中本谷山(2657m10℃)には1時間で到着、景色はガスって山は見えない。そこからは何度もアップダウンを繰り返し、シラビツの森をくぐって権右衛門山を右巻すると塩見新道の分岐点にでた。そこから15分で塩見小屋に到着。小屋脇に厚さ2m長さ50mの雪の吹き溜まりあり。山

小屋開きのアルバイトの女性に情報をもらい、一路塩見岳を目指す。途中からストックをしまい、岩肌を這うように登り頂上に立つ(3047m12℃)東峰まで5分(3052m12℃)一休みの後、慎重に降りだす。途中で見つけたオダマキソウをしっかりとカメラにおさめ塩見小屋へ下る。さらに、来た道を三伏小屋まで降りたが、途中で出会ったパーティーは4人一组と単独3人のみ。シーズン始めとは言え美に心に残る静かな山

〈リーダー所見〉 三日目は快晴朝食前に三伏山に登り北アの遠望と中央アルプスの全山、さらには南アの主峰北岳から、甲斐駒、仙丈、塩見、蝙蝠、荒川、鳥帽子、赤石、聖など、実に多くの山を見ることが出来た。ただ富士山は、鳥帽子に隠れ確認できなかった。今回の山旅で、次回の雲の平をイメージしながら登山できたことは、その準備に向けて大いに参考となった。写真提供佐溝氏 イワカガミ⇒



確認  
(リーダー)  
青  
11/7/7  
山  
作成(報告)  
油  
11/7/7  
井